

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市交通安全指導員会補助金	開始 年 度	昭和49年度
団 体 名	函館市交通安全指導員会		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	当会は、市民の交通安全確保に寄与することを目的に、ボランティア精神に基づき活動しており、これらの活動に係る経費について補助金を支出している。
目 的	(目 的) 当会は、市民を交通事故から守るため、市民と一体となり交通事故防止に関する各種事業を展開している団体であり、同会の活動の支援により、交通安全運動の推進を図るため。
・ 効 果	(効 果) 各種交通安全啓発や街頭指導により、市民の交通安全意識の高揚と交通事故防止が図られるほか、函館港まつりや函館マラソン大会等の全市的なイベントや学校・地域行事の安全な運営に関し重要な役割を果たしており、各種イベントの安全運営計画には、当指導員会の活動に欠かせないものとなっている。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収 入	27	5,600		1,141	480	20		7,241
	28	5,600		1,080	462	27		7,169
	29	5,600		1,005	450	23		7,078
	30	5,600		1,070	435			7,105
	元	5,600		825	414			6,839
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	予備費	補助対象 外経費	計
	27		54	7,160				7,214
	28		72	7,074				7,146
	29		103	6,975				7,078
	30		128	6,977				7,105
元		138	6,697			4		6,839

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市交通安全指導員会補助金
----------------	----------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民の交通安全確保に寄与することを目的にボランティア精神に基づき活動する交通安全指導員で組織されている団体であり、市民と一体となり交通安全指導、各種啓発活動を実践している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市が推進する「安全で安心な街づくり」に大いに役割を果たしており、今後もその活動を支援する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ボランティア団体であることから、自主財源確保には限界があり、引き続き支援する必要がある。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民の安全は単なる業務委託等では確保は難しく、当指導員会をはじめ関係団体の地道な活動により守られるものであり、活動のための補助金が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	毎年度、定期的な事業を行っているため、ほぼ毎年同様の積算内訳となっているが、今後も経費節減に努めるよう指導する。
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	運営費補助であり、会から提出される収支予算書等における積算内訳を精査のうえ、補助金額を決定している。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	ボランティア団体であることから、会費などによる自主財源確保には限界がある一方、傷害・賠償責任保険料や被服・活動費用弁償等の最低限の予算確保は必要であり、今後も同様の支援を継続していきたい。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市交通安全指導員会補助金
----------------	----------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

- ① 函館市交通安全指導員会をはじめ関係機関・団体が取り組む, 交通事故防止活動および交通安全啓発活動の継続的実施。
② 交通安全指導員による交通指導活動が行われるイベント等での安全確保。

(達成状況)

- ① 地域住民の交通安全意識高揚のため, ボランティアとして市等と一体となり各種運動を積極的に展開し, 交通安全思想の普及徹底を図り, 交通事故発生件数等が減少し, 10年前に比べ半減となった。

- 主な活動: ○春夏秋冬各期における街頭啓発, 赤灯車両駐留啓発 ○自転車利用者への街頭啓発ほか
※令和元年度交通安全啓発・広報活動指導員参加実績 延べ1,298人
・函館市交通事故発生件数 平成21年 1,254件 → 平成26年 738件 → 令和元年 500件
・函館市交通事故傷者数 平成21年 1,498人 → 平成26年 895人 → 令和元年 592人
・函館市交通事故死者数 平成21年 7人 → 平成26年 5人 → 令和元年 5人

- ② 交通安全指導員による交通指導活動が行われるイベント等での交通事故等は無く, 安全が確保された。

- 主なイベント: ○函館港まつり ○箱館五稜郭祭 ○函館マラソン大会 ○学校祭 ○各神社初詣, お祭りほか
※令和元年度交通指導活動指導員参加実績 延べ660人

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
一定の効果をあげている <input type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

○今後の方向性

<input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) (見直しの時期)
<input type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和 4 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	令和 4 年度